

取組 3	効果的な授業や指導の推進
-------------	---------------------

○ **現状**

基礎・基本の確実な習得と基本的な学習習慣の定着のため、児童生徒の学習への理解度を高める指導の充実と教員配置の工夫・改善を進めています。

1 学習指導の充実

すべての児童生徒がわかる授業の実践を目指して、学習指導の充実に取り組んでいます。

(1) 授業改善の推進

教育事務所等による教員への指導・助言や、国や県教育委員会が指定した研究指定校・授業改善拠点校等の授業公開、研究成果の発表などを通して、児童生徒の実態に応じたきめ細やかな指導の充実に努めるなど、授業改善を支援しています。



(2) 指導に役立つ情報や資料の提供

ベテランの教員が培ってきた指導技術や優れた教材を、総合教育センターの中にあるカリキュラムセンターに集積し、すべての教員がインターネットを通じてデータを利用できるようにしています。

(3) 全国学力学習状況調査の結果の分析・活用の支援

実施年度ごとの結果分析・活用資料を配付するとともに、総合教育センターにおいて、各学校や個々の児童生徒の学力や学習習慣等にかかわる的確な課題把握ができるシステムを整備しています。

(4) 教員研修の充実

現職教員の大学院への派遣や総合教育センターでの研修、各学校の校内研修などを通して、教員の指導力の向上を図っています。

2 教員配置の工夫・改善

入学・進学時の環境の変化・学習システムの違いによる戸惑いや不安から起こる「小1プロブレム(※1)」や「中1ギャップ(※2)」に対応するため少人数学級編制や少人数指導できめ細かな学習指導を行っています。

(1) さくらプラン（小学校少人数学習支援）

- ・小学校1、2年生は、教員を配置して30人以下学級を編制
- ・小学校3年生は、非常勤講師を配置して実質30人以下学級を実現

(2) わかばプラン（中学校第1学年生活充実支援）

- 中学校第1学年が4学級以上の学校に非常勤講師を配置
(4学級校1人、5～6学級校2人、7学級以上校3人)

(3) 算数・数学の少人数指導

小学校4年生から中学校3年生までの算数・数学の授業を少人数指導やティーム・ティーチングで指導できるように教員や非常勤講師を配置



※1 小1プロブレム 小学校に入学した1年生が、集団行動が取れない、授業中に座ってられない、話を聞かないなどの落ち着いて授業ができない状態のこと

※2 中1ギャップ 中1プロブレムとも言われ、中学1年生に不登校やいじめが急増する現象のこと

○ **課題**

- ・児童生徒が授業の中で自分の考えを発表する機会を増やすなど、効果的な授業や指導の推進により、児童生徒に基礎・基本の確実な習得を図ること
- ・「小1プロブレム」や「中1ギャップ」等に見られる児童生徒の発達段階の課題に対応した教員の配置をすること

○ 取組の方向

- ・効果的な授業の推進に向けた取組を支援し、各学校への成果の普及や情報提供の充実を図ります。
- ・授業充実に向けた相談・支援を行うカリキュラムセンターを充実します。
- ・児童生徒の状況に応じた少人数学級編制や少人数指導できめ細かな指導を行います。
- ・さくらプラン非常勤講師やわかばプラン非常勤講師の常勤化などにより、小学校及び中学校におけるきめ細かな指導をさらに推進します。

○ 主な事業の概要

事業の概要	担当部署
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導主事の学校訪問 教育事務所等の指導主事が学校を訪問し、学校運営や授業展開等の課題に対する助言を行い、学校の教育活動を支援します。 	各教育事務所
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究指定校・授業改善拠点校指導 義務教育課や教育事務所等の指導主事が実践研究や授業改善に向けた取組に対する助言を行うとともに、公開授業研究会等の開催を支援します。 	義務教育課 各教育事務所
<ul style="list-style-type: none"> ・ カリキュラムセンター運営 魅力ある学校づくりと授業の充実のための相談・支援業務を行うため、カリキュラムセンターを整備し、学校の教育活動を支援します。 	総合教育センター
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修支援隊事業運営 総合教育センターの指導主事が学校へ出向いて教員向けの研修を実施するほか、授業に必要な教材や資料の提供等を行い、総合的に学校の教育活動を支援します。 	総合教育センター
<ul style="list-style-type: none"> ・ ぐんま少人数クラスプロジェクト さくらプラン・わかばプランを含めて多様な人材を学校の実情を勘案して配置し、小中学校における少人数学級編制及び少人数指導を推進します。 	学校人事課

○ 達成目標

目標の概要	基準年度の状況 (H20)	目標年度の状況 (H25)
<ul style="list-style-type: none"> ・「授業がわかる」と考えている小中学生の割合 	(小6) 82% (中3) 64%	すべての児童生徒が「授業がわかる」
<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思う児童生徒の割合 (当てはまる+どちらかといえば当てはまる) ※全国学力・学習状況調査(文部科学省) 	(小6) 79.7% (中3) 78.9%	90%以上
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員配置の工夫・改善 	小1、小2で非常勤講師を常勤化し30人以下学級を編制	小中学校におけるきめ細やかな指導をさらに推進